



米山薬師 塚越の花祭り (5月4日)



馬上かたくりの里 (4月上旬)



カイドウ街道 (4月上旬~中旬)



小川の百八灯 (8月16日)



倉尾神社の長旗付花火 (5月4日)



吉田元気村 (秩父市上吉田)

●キャンプ、コテージ、体育館、お風呂、お食事などの利用ができます。



埼玉県内ダム位置図

埼玉県のマスコット コバトン

かっかく

**埼玉県合角ダム管理所**

〒369-1505 埼玉県秩父市上吉田 4850-1  
 TEL.0494 (78) 0285  
 FAX.0494 (78) 0287

URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/b1007/k-dam/>



埼玉県のマスコット コバトン

# 荒川水系吉田川

# 合角ダム



## 事業の目的

合角ダムが建設された吉田川は、荒川水系赤平川の支川で、群馬県境の二子山(標高 1,166m)に源を発して、埼玉県西部の西秩父を東に流れ、途中で支川の石間川、阿熊川を合わせて赤平川に合流する一級河川です。

流域面積 78.8km<sup>2</sup>、流路延長 25kmで、その流域上流部は小鹿野町に、下流域は秩父市と皆野町に属しています。

合角ダムは、吉田川総合開発事業の一環として秩父市上吉田と小鹿野町にまたがって建設されたもので、洪水調節、河川環境の保全及び上水道用水の新規開発という複数の目的を持つ多目的ダムです。

## 洪水調節

ダム地点において、460m<sup>3</sup>/sの洪水に対し最大400m<sup>3</sup>/sを調節し、吉田川下流の洪水被害の軽減を図ります。

## 河川環境の保全

流域の漁業、景観、動植物の保護などのため、渇水時においても維持しなくてはならない流量と、ダム下流の吉田川及び赤平川で取水しているかんがい用水・上水道用水のために必要な流量を確保します。

## 上水道用水の新規開発

水需要の増大化に対処するため、埼玉県・深谷市川本・寄居町・小鹿野町の水道用水として新たに1.0m<sup>3</sup>/sの取水を可能にします。

## ダム諸元

河川名	荒川水系赤平川支川吉田川
形式	重力式コンクリートダム
堤高	60.9 m
堤頂長	195.0 m
堤体積	約 17 万 m <sup>3</sup>

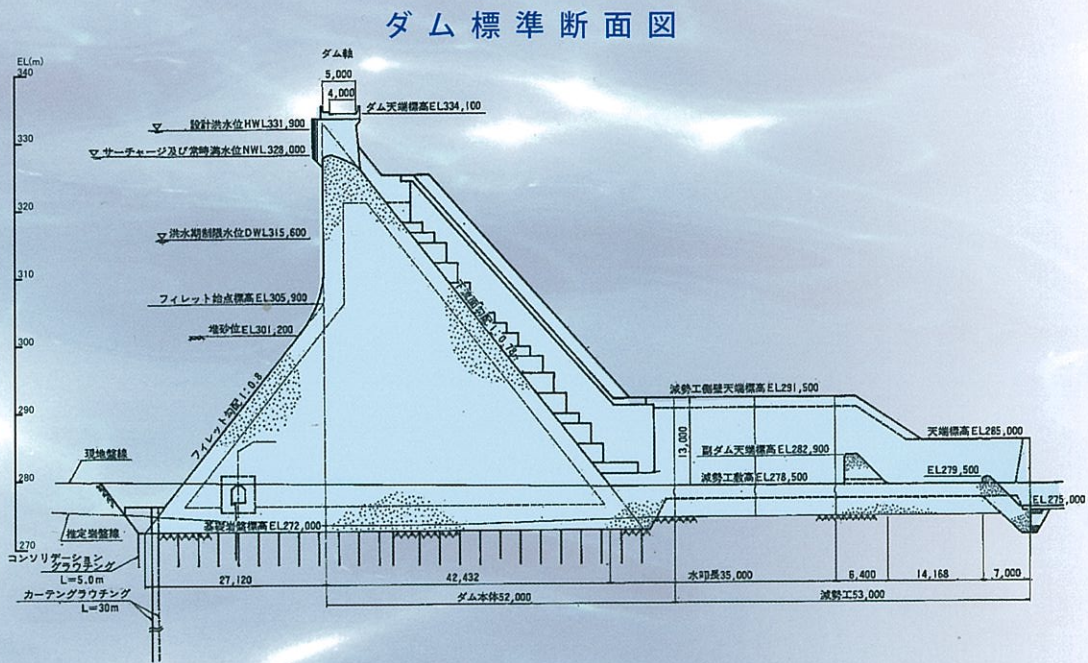
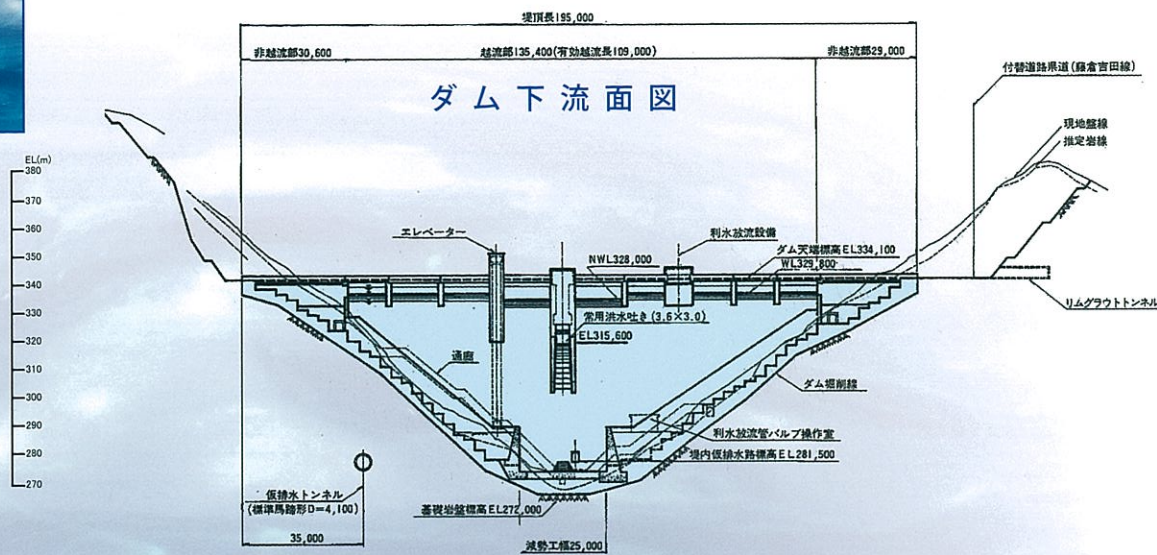
## 西秩父桃湖

湖水面積	0.56 km <sup>2</sup>
集水面積	32.1 km <sup>2</sup>
総貯水量	1,025 万 m <sup>3</sup>
有効貯水量	925 万 m <sup>3</sup>
洪水調節量(洪水期)	560 万 m <sup>3</sup>

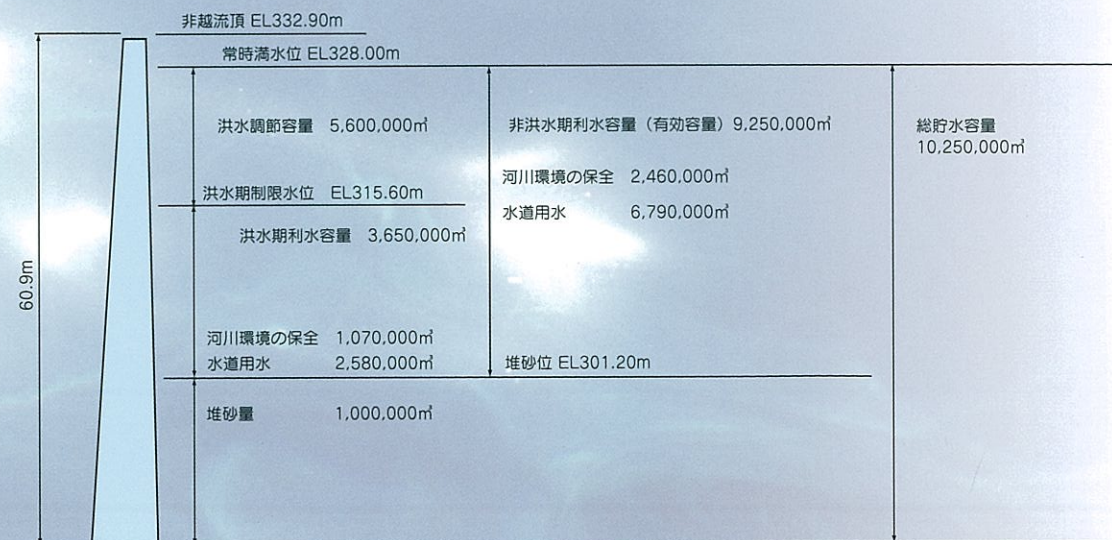


# ダム概要

## Outline



### 貯水池容量配分図



# 事業のあゆみ

## History

- 昭和 45 年 4 月 1 日 ● 実施計画調査 (補助事業) に着手
- 昭和 48 年 4 月 1 日 ● 建設事業 (補助事業) に採択
- 昭和 54 年 4 月 17 日 ● 水源地域対策特別措置法に基づきダム指定
- 昭和 60 年 10 月 28 日 ● 「損失補償基準」を補償対策委員会へ提示
- 昭和 61 年 12 月 6 日 ● 「損失補償基準」が妥結
- 昭和 62 年 3 月 30 日 ● 水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画が公示
- 平成 2 年 12 月 26 日 ● 合角ダム建設工事本契約
- 平成 4 年 2 月 20 日 ● 転流開始
- 平成 5 年 7 月 2 日 ● 本体コンクリート打設開始
- 平成 5 年 10 月 29 日 ● 定礎式
- 平成 6 年 7 月 15 日 ● 合角連大橋の建設工事に着手
- 平成 7 年 10 月 26 日 ● 本体コンクリート打設完了
- 平成 10 年 3 月 25 日 ● 合角連大橋が完成
- 平成 10 年 10 月 15 日 ● 試験湛水を開始
- 平成 11 年 11 月 16 日 ● 竣工式
- 平成 14 年 6 月 11 日 ● 試験湛水完了
- 平成 15 年 3 月 3 日 ● 完成 (ダム検査合格)

### 補償概要

土地	移転世帯	家屋	付替道路
宅地 5.2ha	水没 72 戸	家屋及び 工作物	県道藤倉吉田線 2.5km
畑 21.3ha	付替道路 3 戸		小鹿野町道 4.9km
山林 69.8ha			吉田町道 3.4km
その他 4.7ha			吉田町林道 0.5km
計 101.0ha	計 75 戸	220 棟	計 11.3km

### 水没地域の歴史



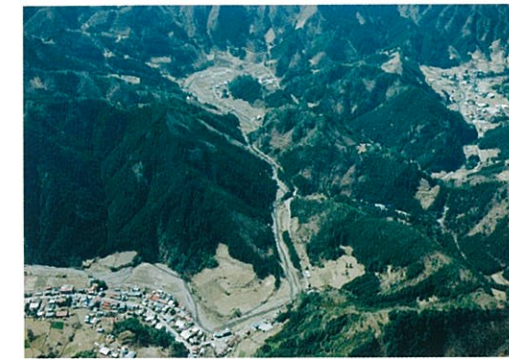
#### 伝説の巨岩「天狗岩」

昔、日照り続きで吉田川 (藤倉川) の水が枯れ、村人が水争いを始めたとき、怒った天狗が山の上から岩を投げ落とし、水の大切さを村人に教えたという伝説が伝えられています。

故郷の思い出を残すためにと、保存の声が上がりましたが、あまりの大きさに実現しませんでした。



定礎式



工事着工前



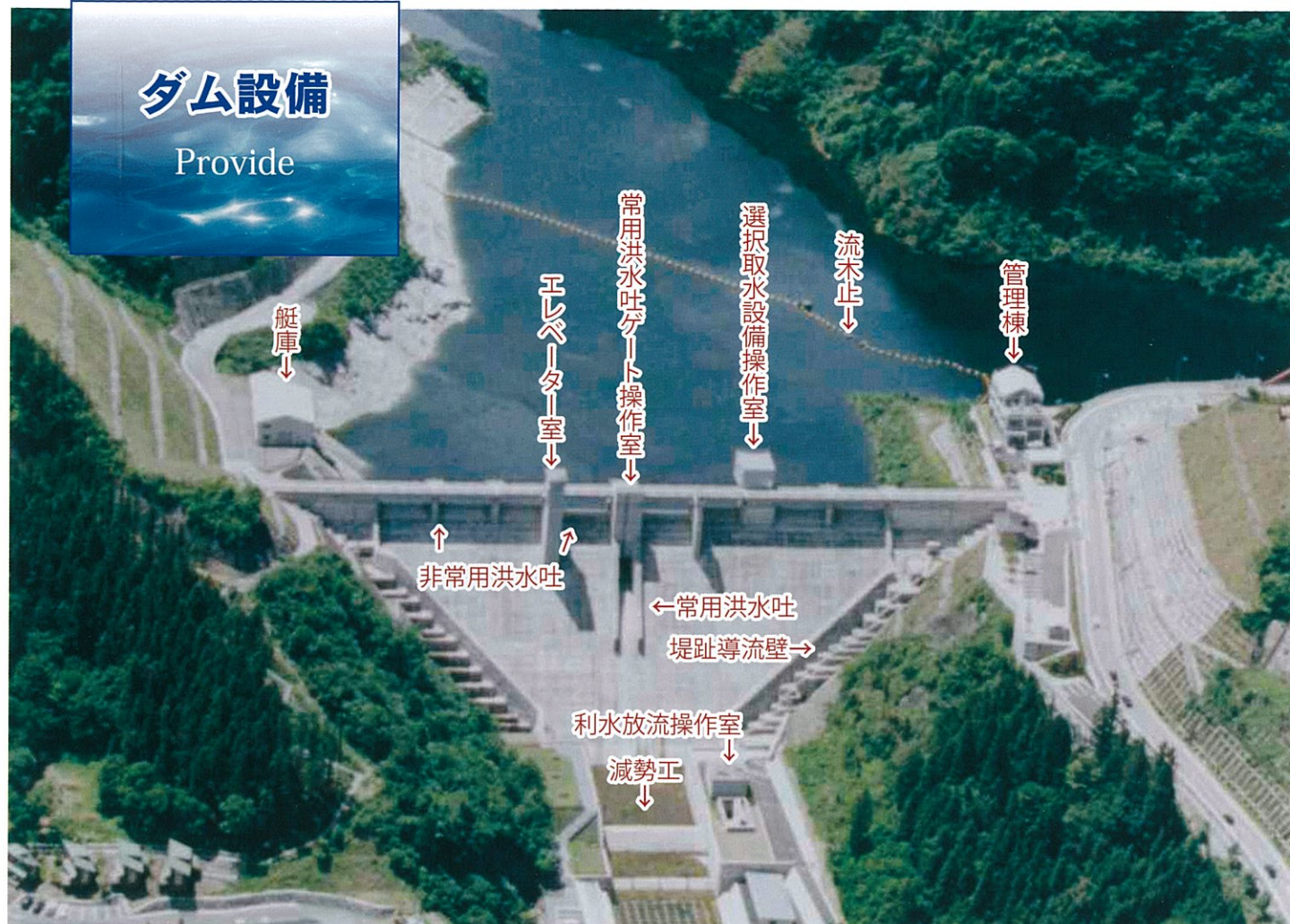
本体工事



工事完成後

# ダム設備

Provide



- **エレベーター**  
ダム堤体内部の、点検のために設けられた通廊に降りていくための施設です。
- **艇庫及びインクライン**  
湖の巡視船と、流木等の処理を行う集塵船が艇庫に納められています。これらの船はインクラインによって湖面へ降ろされます。
- **常用洪水吐**  
洪水調節のための放流設備です。
- **非常用洪水吐**  
常用洪水吐から放流しきれない洪水流量を放流します。
- **選択取水設備**  
貯水池の任意の深さの水を選択して取水するための設備です。通常は、自動で水面下 1.5 m の水を取水しています。
- **減勢工**  
ダムの堰上げによって増大された放流水のエネルギーを弱めることで、堤体の安全確保、下流の護岸等を保護します。
- **堤趾導流壁**  
放流された水の跳ねあがりを防ぎ、減勢工に導くための施設です。
- **利水放流設備**  
選択取水設備で取水された水を下流へ放流するための設備です。直径 1,100mm 及び直径 250mm の放流管を使用し、操作室にあるバルブで流量を調節します。
- **流木止**  
上流から流れてきた木やゴミを選択取水設備に流入させないようにする設備です。網場（あば）とも呼ばれています。

# ダムを適性に管理するための施設



## 操作室

ダムを管理する心臓部で、各観測データの処理・表示・記録、放流ゲートの操作、下流警報局の遠隔操作等をおこないます。



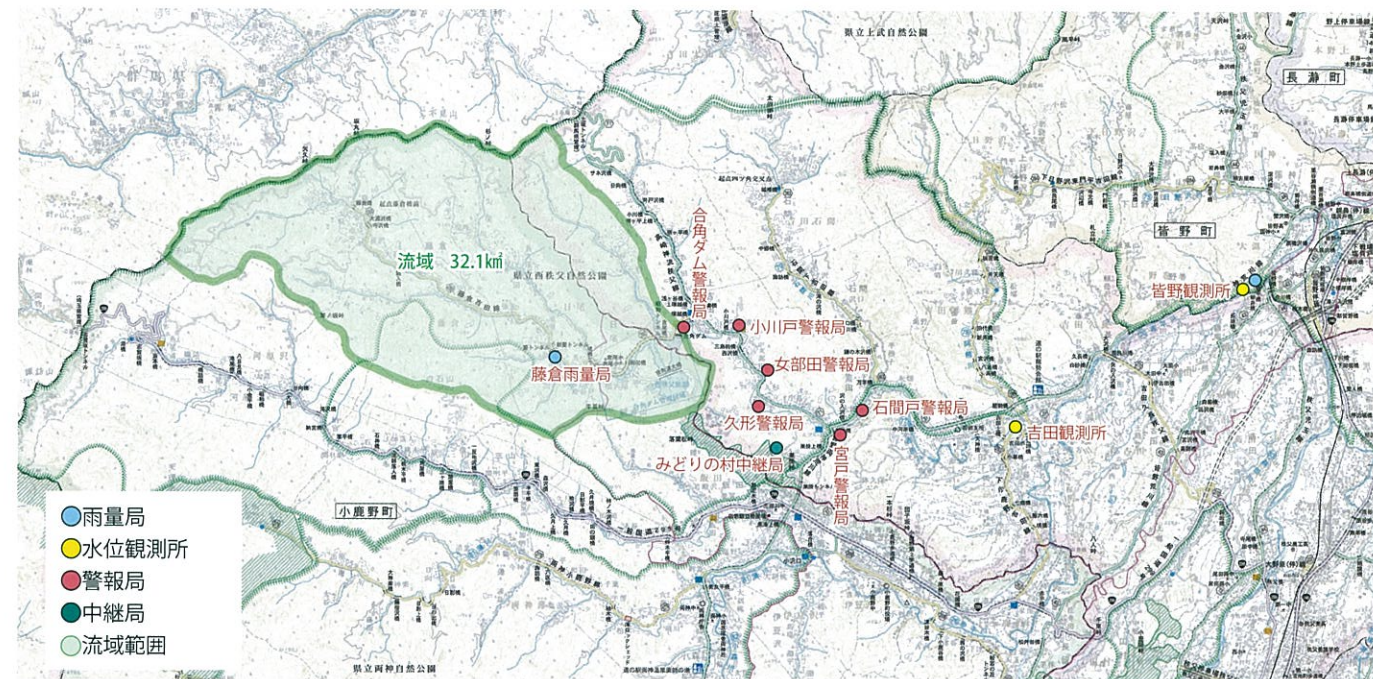
## 堤体観測処理装置

堤体内部に設置してある地震計、たわみ計、温度計、岩盤変位計、漏水量計等を観測します。



## 地すべり観測装置

ダム周辺に点在する地すべり地区の挙動を常時観測します。



## 雨量局

自動で雨量を観測し管理所へデータを送ります。



## 水位観測所

下流河川の水位を観測し管理所へデータを送ります。



## 警報局

ダムからの放流をサイレン、スピーカーにより付近の皆さんに知らせます。



## 中継局

管理所から直接電波の届かない警報局等に電波を中継します。